

パブリック・コメント手続実施結果報告

番 号	
案件名	「西武新宿線沿線まちづくり整備方針（都立家政駅周辺地区編）（案）」及び「西武新宿線沿線まちづくり整備方針（鷺ノ宮駅周辺地区編）（案）」について
意見募集期間	令和2年2月27日 から 令和2年3月18日まで

1. 提出方法別意見提出者数

提出方法	人（団体）数
電子メール	12
ファクシミリ	16
郵 送	0
窓 口	12
合 計	40

2. 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方（同趣旨の意見は一括）

合計意見数	46 件
-------	------

【都立家政駅周辺地区編について】（19件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
<道路について>		
1	生活道路計画は多くの立ち退きが必要であり、多くの緑が失われる。	地区内の緑の保全については、まちのルールとして、皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。
2	美鳩小学校の南東の角（体育館側）で、消防車・救急車が道が狭すぎてなかなか曲がれない。中学校に変更する際、道路を広げてください。	交通の集散機能、交通利便性の向上、避難路の確保を目的とした、東西の生活道路の整備を考えている。今後、地区の防災性や交通状況を勘案し、地域の皆さまのご意見を伺いながら、位置や幅員について検討していく。
3	補助第133号線、補助第227号線をつなぐ生活道路の目的がはっきり見えない。野方駅周辺まちづくりでこの生活道路はつながっていくのか。	新青梅街道と早稲田通りとの間に東西方向の交通を集散する道路が無い。そのため、交通の集散機能、交通利便性の向上の他、避難路の確保を目的とした道路を考えている。今後、野方駅周辺まちづくりの中で検討していく。

4	都道補助第227号線の完成を何年先と考えているのか。	補助第227号線(妙正寺川以北区間)については、妙正寺川以南区間の事業と切れ目無い事業着手を考えている。
<学校跡地活用について>		
5	<p>第四中学校の跡地を民間へ売却せずに、災害時に避難出来る緑地や広場を残した形での運用をお願いします。</p> <p>被災時や児童が急増した際などに対応可能な予備地としてキープしてください。</p> <p>学童クラブや児童館、ボール遊びの出来る公園、小規模保育園の遊園代わりに遊べる場所などにして頂きたい。</p>	第四中学校の再編後の跡地活用については、現在検討中であり、今後策定する区有施設整備計画の中で、お示しする予定である。
<連続立体交差事業関連について>		
6	西武新宿線野方駅～井荻駅間の「高架化」「地下化」「現状維持」かは、まちづくりに大きく関わります。どれが良いのかきちんと議論し、まちに及ぼす変化を検討・提示して、住民意見を集め取りまとめ、西武鉄道と交渉すべきです。	駅前広場など、まちの課題解決のため整備すべき必要な機能は、構造形式により変わるものではないと考えている。
<防災について>		
7	新たなまちづくりの観点から、防災性能の高い建物への誘導を進めてもらいたい。	準防火地域では、防火性能が相対的に低い建物構造となる可能性があるため、防火性能の高い建物への建替えを誘導する建築規制の導入を検討していく。
8	P18ページの防災性の向上の中に、数値目標として、「不燃領域率60%以上の達成」を加えてください。	<p>まちづくり整備方針は、これからの都立家政駅周辺地区の姿やまちづくりを具体的に進めていくための方向づけを示すものである。</p> <p>防災性を向上させるための具体的な施策については、今後、お示ししていきたいと考えている。</p>

9	「火災による危険が高い地域での避難」についても、まちづくりの観点で施策を追加してください。	まちづくり整備方針(案)のP18に「消防活動困難区域の解消」及び「避難路の安全性の確保」について記載している。
<その他>		
10	まちづくり整備計画は、よく検討された計画で基本的に賛成です。着実に計画を進めていただけるよう要望します。	まちづくり整備方針策定後は、各施策を進めていく段階に応じて、より丁寧な説明や情報提供を行い、まちづくりを進めていく。
11	新型コロナウイルスの影響で説明会が中止となったが、大切な説明会なので是非後日改めて設定して欲しい。	まちづくりを進めるためには、まちづくり整備方針を早期に策定することが必要であることや、既に10月に素案の意見交換会を実施済みであり、今回の説明会は必ずしも行政手続上、必要ではないことにより、説明会を中止とし、パブリック・コメント手続を行った。
12	まちの将来を多くの人に考えてもらう立場からも住民説明会を行ってください。	今後、各施策を進めていく段階に応じて、より丁寧な説明や情報提供に努めていく。
13	パブリック・コメント手続の周知の方法について、回覧板や掲示版の利用、これから担う若者への伝達方法の工夫などを行って欲しい。	説明会、パブリック・コメント手続の周知は、区報、整備方針の範囲内にある区のお知らせ掲示板、区のホームページ、町会の回覧板、区のツイッターで幅広く周知した。
14	整備方針からは具体的にイメージしづらい。今後さらに具体化するとともに区民の意見を聴取してください。	今後、駅アクセス道路などの基盤施設の計画をお示しする予定である。その際は、皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。
15	若い人達の意見をくみあげる何かの方法を考えてほしい。	意見交換会や説明会の開催のお知らせについて、区のツイッターなどを活用し、若い人達にも周知出来るようにしていく。
16	都立家政駅、鷺ノ宮駅、野方駅周辺地区3地域一体のまちづくりを明示し説明が必要。	各地区のまちづくりの進め方が異なるため、まずは、都立家政駅と鷺ノ宮駅の周辺まちづくり整備方針(案)のパブリック・コメント手続を行った。 今後、野方駅周辺地区のまちづくりについても随時お示ししていく。

17	区役所や病院に行ける乗り合いバスやミニバスがあるといい。	都立家政駅周辺地区には南北方向のバスが通れる道路空間が無いので、バスが通れる道路整備を行っていく。また、バスの運行については、今後、バス事業者と意見交換をしていく。
18	補助第227号線を中心に、若宮2丁目都営団地・都営鷺宮アパート・若宮2丁目マルエツを通る形で、バス路線か巡回タクシーなどで交通不便を解消してください。	
19	意見交換会実施結果報告書の4ページに「地下化高架化については把握していない。国、東京都、西武鉄道に区及び地域の考えを伝えている」とあるがどのような考えを伝えているのか。	区民や区議会と組織する西武鉄道踏切渋滞解消促進期成同盟は、構造形式を限定せずに事業の早期実現を要望している。

【鷺ノ宮駅周辺地区編について】 (27件)

No.	提出された意見の概要	区の考え方
<駅前拠点について>		
1	駅南口から南東方向は駐輪場や住宅地がほとんどで駅前の土地を有効利用出来ていない。鷺ノ宮駅から南東の妙正寺川に沿って100m～200m程度は駅前拠点ゾーンにしてはどうか。	各ゾーンは、概ねの位置を示している。今後、地域特性に応じた適切な土地利用を検討していく。
2	駅前は賑わいを作るために低層住宅地ではなく、中規模なオフィスビルを建設出来るよう都市計画したほうがよい。	駅前は、街区再編や土地の高度利用を誘導し、多目的に活用できるにぎわい空間の創出を考えている。
3	新駅周辺の容積緩和や用途変更の案を再開発に絡み早く出して、出店などの街のプラン作りをした方がよい。	周辺施設と一体となった駅前広場を整備し、多目的に活用できるにぎわい空間を創出していく。そのため、街区再編や土地の高度利用を誘導していく。

4	駅前広場と拠点形成のゾーンが幅広くあいまいで、その範囲がどうしても必要だという理由が明確でない。	まちづくり整備方針は、これからの鷺ノ宮駅周辺地区の姿やまちづくりを進めていくための方向づけを示すものであり、明確な範囲を示すものではない。今後、具体的な範囲などについては、駅前広場などの基盤施設の都市計画手続きや、個別の計画の中でお示ししていきたいと考えている。
<駅前広場について>		
5	駅前広場は、駅舎や周辺の商業施設と一体に設計し、限られたスペースを人が集まりたくなるスペースにする必要がある。	周辺施設と一体となった駅前広場を整備し、多目的に活用できるにぎわい空間の創出を考えている。
6	駅の南口周辺は妙正寺川を暗渠にして用地を確保してはどうか。	妙正寺川を蓋がけにすることは、河川の管理上、難しいと考えている。
7	現在の鷺ノ宮駅の北側で中杉通りの東側にロータリーを作ってください。	駅前広場の位置については、乗り換え利便性を考慮し、今後、選定していく。その際は、皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。
8	駅前広場整備は鷺ノ宮駅の規模、性格、駅周辺の賑わいの状況からみて雨よけ、待ち合わせ、バスとの連絡など必要最小機能を備えた極力小型のものがよい。	駅前広場の大きさについては、バスやタクシーなどの車両動線などを踏まえ、今後、選定していく。
<学校跡地活用について>		
9	鷺ノ宮駅周辺の昼夜間人口比率を上げる施策が必要であり、徒歩5分以内に中規模オフィスを複数設けるのがよい。西武鉄道(株)と協同して、鷺宮小学校跡地の活用策として検討していただきたい。	鷺宮小学校及び西中野小学校の再編後の跡地活用については、現在検討中であり、今後策定する区有施設整備計画の中で、お示しする予定である。
10	鷺宮小学校、西中野小学校の跡地を民間へ売却せずに、災害時に避難出来る緑地や広場を残した形での運用をお願いします。 被災時や児童が急増した際などに対応可能な予備地としてキープしてください。 学童クラブや児童館、ボール遊びの出来る公園、小規模保育園の遊園代わりに遊べる場所などにして頂きたい。	

1 1	西中野小学校の転居が予定されているが、土地、施設を処分せず、そのまま活用し臨時あるいは恒久的な災害対策施設とすることが望ましい。校庭は広場として残し処分対象としない。	西中野小学校の再編後の跡地活用については、現在検討中であり、今後策定する区有施設整備計画の中で、お示しする予定である。
<補助第133号線沿道について>		
1 2	補助第133号線と旧道の関連、使用方式を明確にし、沿道の高層ビル化は極力避けて、新旧間の低層住環境の維持に十分配慮が必要。	<p>補助第133号線は、延焼遮断帯となっているため、整備にあわせて沿道建物の不燃化や耐震化を促進していく。</p> <p>また、補助第133号線と中杉通りに囲まれる地区については、良好な住環境を維持しつつ、都市型住宅などの集積に向けた土地利用を誘導し、まちづくりのルールを検討していく。</p> <p>さらに、中杉通りは、歩行者や自転車が自動車と共存できるよう関係機関と調整し、改善したいと考えている。</p> <p>その際は、皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。</p>
<連続立体交差事業関連について>		
1 3	西武新宿線野方駅～井荻駅間の「高架化」「地下化」「現状維持」かは、まちづくりに大きく関わります。どれが良いのかきちんと議論し、まちに及ぼす変化を検討・提示して、住民意見を集め取りまとめて、西武鉄道と交渉すべきです。	駅前広場など、まちの課題解決のため整備すべき必要な機能は、構造形式により変わるものではないと考えている。
1 4	<p>鷲ノ宮駅周辺地区まちづくり構想（平成30年3月発行）10ページの西武新宿線沿線部分に記載されている道路は、連続立体交差事業の構造形式を高架式を採用しての北側道路と解釈されます。</p> <p>しかし、西武新宿線沿線まちづくり整備方針（鷲ノ宮駅周辺地区編）（令和2年1月発行）の15ページにはそれに該当する道路が削除されている。</p> <p>これは構造形式は地下方式が採用されたことと解釈されます。</p> <p>同15ページには西武新宿線の連続立体交差事業の実現に向けた連携と明示されている以上、後になって北側側道を追加する等変更することは許されない。</p>	<p>鷲ノ宮駅周辺地区まちづくり構想（平成30年3月発行）は、鷲ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会より提案されたものである。</p> <p>この提案を踏まえ、区の計画である西武新宿線沿線まちづくり整備方針（鷲ノ宮駅周辺地区編）（案）（令和2年1月発行）を作成した。</p> <p>まちづくり構想にある西武新宿線付近に記載されている道路の位置は未定となっており、構造形式を特定して記載しているものではないと判断している。</p> <p>西武新宿線沿線まちづくり整備方針（鷲ノ宮駅周辺地区編）（案）（令和2年1月発行）において、まちづくりに必要な道路は記載している。</p>

＜みどりについて＞		
15	<p>みどりが比較的に保存されている地域と思う。この遺産を継承発展させるため、小規模アパート・住宅の増加に歯止めをかける規制、法令の厳格運用が必要。</p> <p>街路樹や草花を増やし、商業の活性化により緑の多いまちづくりが望ましい。</p>	<p>各宅地沿道における緑化の誘導や、これまで蓄積された良好な住環境を維持するため、まちづくりのルールを導入を検討していく。</p>
＜広域避難場所について＞		
16	<p>大規模団地の建て替えにあたっては、自然と共生したみどり豊かなまちづくりを重視して欲しい。一部を森林公園として欲しい。</p>	<p>大規模団地の建て替えにあたり、良好な住環境を維持するため、まちづくりのルールを導入するとともに、土地利用が更新される時期にあわせ、計画的に公園や広場を整備していく。</p>
＜その他＞		
17	<p>説明会の告知を整備予定駅構内や周辺施設、掲示版、小中高校や保育園・幼稚園にて幅広く行った上で、複数回の説明会を行って住民理解を深め、住民意見を聞き取り反映してください。</p>	<p>説明会は、区報、整備方針の範囲内にある区のお知らせ掲示板、区のホームページ、町会の回覧板、区のツイッターで幅広く周知した。</p> <p>また、まちづくりを進めるためには、まちづくり整備方針を早期に策定することが必要であることや、既に10月に素案の意見交換会を実施済みであり、今回の説明会は必ずしも行政手続上、必要ではないことにより、説明会を中止とし、パブリック・コメント手続を行った。</p> <p>今後、各施策を進めていく段階に応じて、より丁寧な説明や情報提供に努めていく。</p>
18	<p>まちの将来を多くの人に考えてもらう立場からも住民説明会を行ってください。</p>	<p>今後、駅前広場などの基盤施設の計画をお示しする予定である。その際は、皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。</p>
19	<p>整備方針からは具体的にイメージしづらい。今後さらに具体化するとともに区民の意見を聴取してください。</p>	<p>今後、駅前広場などの基盤施設の計画をお示しする予定である。その際は、皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。</p>
20	<p>鷺ノ宮駅から新青梅街道までの中杉通りの活性化は休眠状態のシャッター店舗の活性化、休眠用地の売却の促進が必要。</p>	<p>補助第133号線（妙正寺川以北区間）は、補助第133号線の整備にあわせて、地域住民のニーズにあった施設の集積に向けた土地利用の誘導と、沿道の商店街の賑わい再生や、店舗などが入る街並みを形成するため、まちづくりルールの導入を検討していく。</p>

2 1	野方駅、鷺ノ宮駅、中野駅などへ向かうミニバスなどの交通を実現してほしい。	鷺ノ宮駅からのバスの運行については、今後、バス事業者と意見交換をしていく。
2 2	生活道路の幅員など不明です。	地域の交通状況や地域課題の改善効果などを勘案し、地域の皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。
2 3	若い人達の意見をくみあげる何かの方法を考えてほしい。	意見交換会や説明会の開催のお知らせについて、区のツイッターなどを活用し、若い人達にも周知出来るようにしていく。
2 4	中野区都市計画マスタープランに示されてるように、住民・土地所有者等による将来像についての話し合いを重ね、地区のまちづくりのルールなどについての合意形成を図り、まちづくりを進めてください。	今後もまちづくりルールなどの導入にあたり、皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。
2 5	駅周辺のまちが二度と水浸するようなことがないように、真剣にまちづくりを考えてください。	近年の豪雨を踏まえた妙正寺川の河川整備や、雨水の貯留・浸透施設の整備等、地域の防災性向上のために、関係機関と調整を図っていく。
2 6	この方針はどのような形で何時決定されるのか。6月に改定される「中野区基本構想」との関連は。	パブリック・コメント手続後、皆さまの意見を踏まえて、令和2年4月以降策定する。 なお、策定中の中野区基本構想では、区が10年後に目指すまちの姿を描いている。本方針は、中野区基本構想の内容と調整をしている。
2 7	新青梅街道と中杉通りの交差点周辺地区の土地利用が明確でないがどのような検討経過かを知りたい。	新青梅街道と中杉通りの交差点周辺（鷺宮3丁目付近）には一団地の住宅施設が都市計画で定められている。今後、補助第133号線沿道を含め、鷺宮小学校跡地周辺、一団地の住宅施設周辺については、一体的なまちづくりルールの導入を検討していく。

### 3. 提出された意見により変更した箇所とその理由

No.	変更した箇所	変更の理由
	変更なし	